

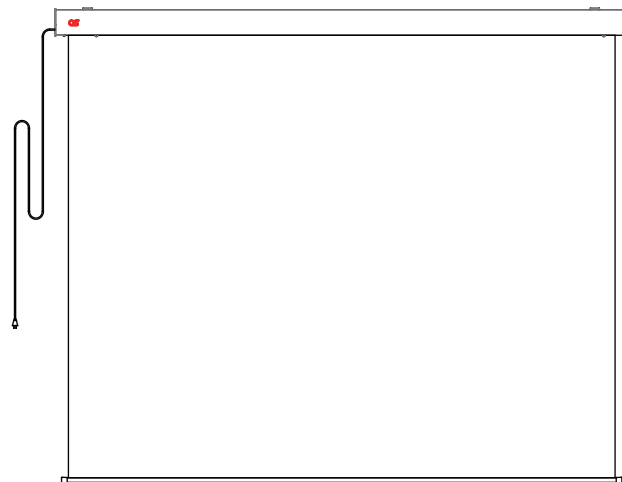
設置・取扱説明書

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の取り付けについて、工具をお持ちでないとき、コンクリートに設置するときは取付専門業者に設置を依頼してください。

- 取付専門業者につきましては、販売店および当社にお尋ねください。



SED-083FN-W1

SED-103FN-W1

SED-123FN-W1

もくじ

安全上のご注意	2～3
仕様	4～5
付属品の確認	6
オプション	6
本機の構成と各部のなまえ	7
取扱上のご注意	8
使用方法	9
リモコン送信機の準備	10
設置方法	11～15
接続方法	16～17
自動停止位置の変更	18～22
FAQ（よくある質問）	23
お問い合わせ先	24

■ この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄は、障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

警告



設置作業は必ず二人以上の作業員で行う

本製品の転倒、破損、および搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性もあり大変危険です。



長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

本機が落下し破損するだけでなく、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



発煙・発熱・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源プラグを抜く

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。

- 使用を中止し、取扱店または当社までご相談ください。



電源ケーブルを引っ張らず、電源プラグを持って抜く

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電・発熱・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

警告



異物（金属片・水・液体）が本機の内部に入った場合は、使用を中止し、電源プラグを抜く

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。

● 使用を中止し、取扱店または当社までご相談ください。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

漏電により、火災の原因になることもあります。



乾電池の交換は2本とも新しい同種のものにする

古い乾電池を混ぜて使用すると発熱・液漏れ・破裂の原因になることがあります。



製品および部品の分解や修理・改造をしない

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。

● 修理は、取扱店または当社までご相談ください。



スクリーンにぶら下がったり、物を掛けたりしない

本機の破損の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



雷が鳴ったら電源プラグに触れない

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



濡れた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



電源ケーブルや電源プラグを破損するようなことはしない

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



設置作業が終了するまで、電源コンセントは差し込まない

感電の原因となり、死亡または重傷などを負う可能性があり大変危険です。



ストーブなど熱源の近くで使用しない

スクリーンは火気に弱いので、焼損や火災の原因となり大変危険です。



スクリーンを無理に引き出さない

本機の破損や落下の原因となり大変危険です。

注意



使用後は必ずスクリーンをケースに収納する

長時間引き出したままにすると、スクリーン生地品質低下の原因となります。



本機の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かない

本機や置いたものが破損する原因になります。

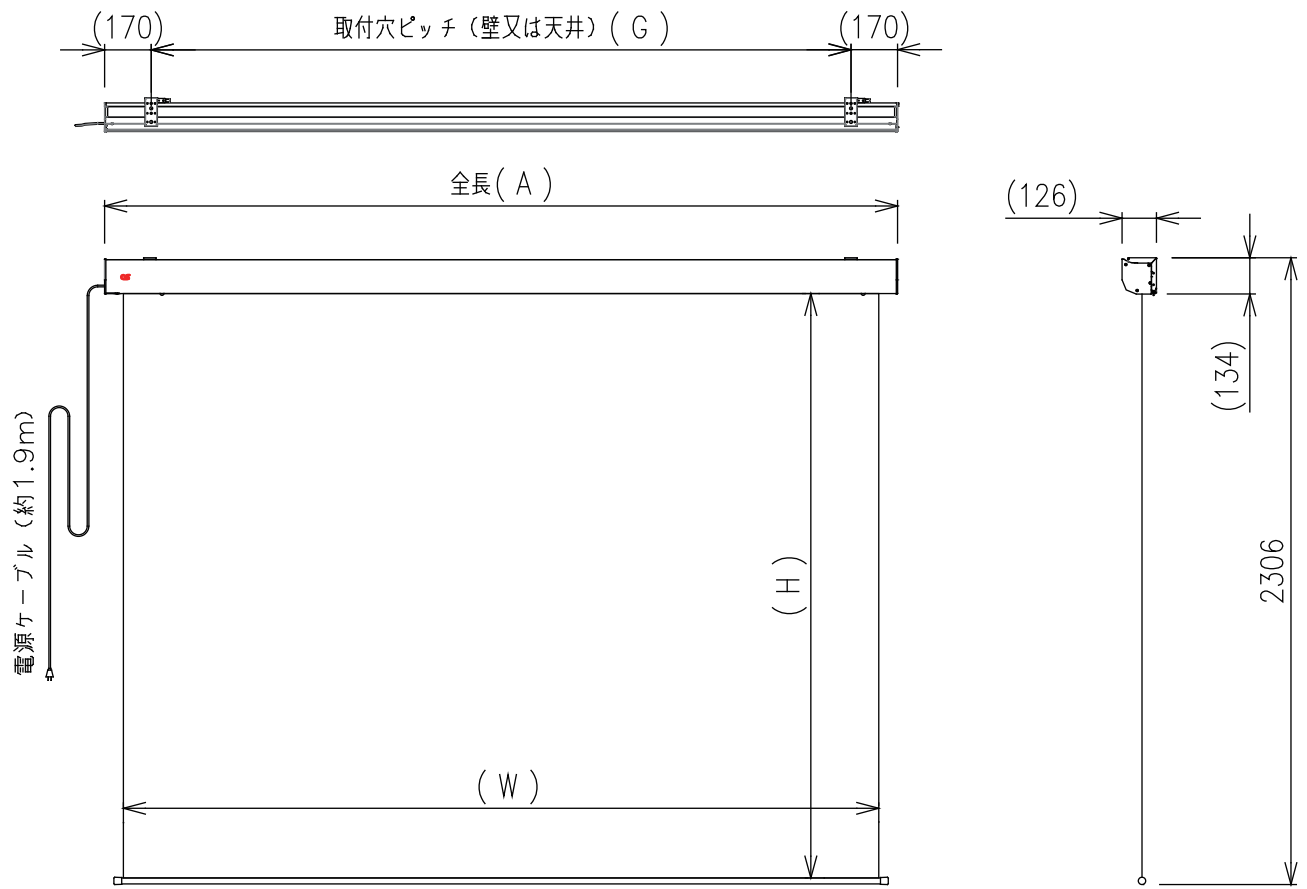


スクリーンに鋭利な刃物、尖った金属等を近づけない

映写効果を損なうだけでなく、破損の原因になります。

■ 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷については当社は責任を負いません。

仕様



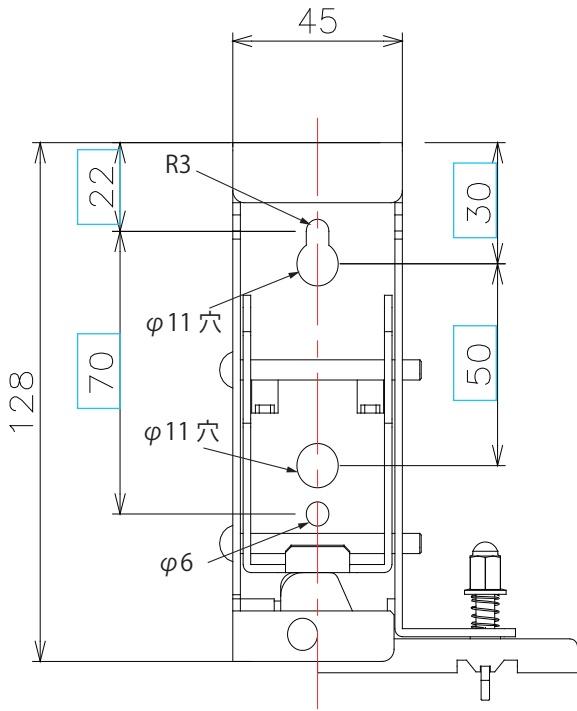
型式	スクリーンサイズ W×H(mm)	全長 A (mm)	取付穴ピッチ G(mm)	質量 (kg)	スクリーン 生地	梱包サイズ L×H×D(mm)
アスペクトフリー						
SED-083FN-W1	1871×2150	2008	1668±100	10.3	WG103	2280×180×205
SED-103FN-W1 ※1	2314×2150	2451	2111±100	12.2		2730×180×205
SED-123FN-W1 ※1	2757×2150	2894	2554±100	14.2		3170×180×205

※ 仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

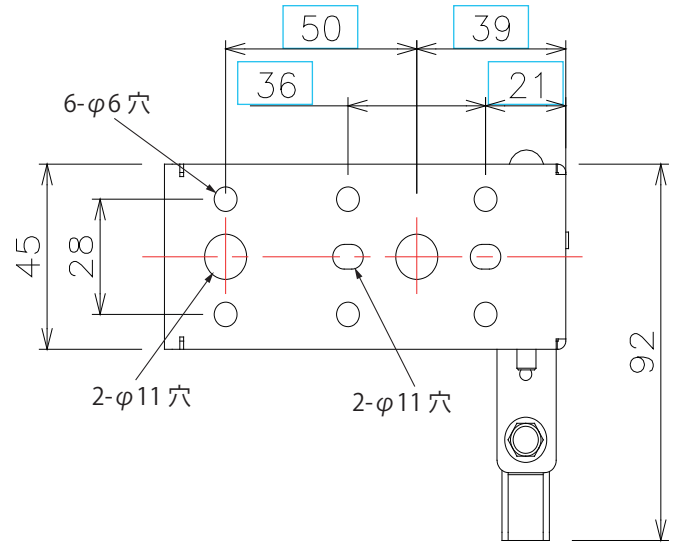
※1 スクリーン内に継ぎ目が入ります。

スライディングブラケット寸法図

取付用穴位置 (□印)

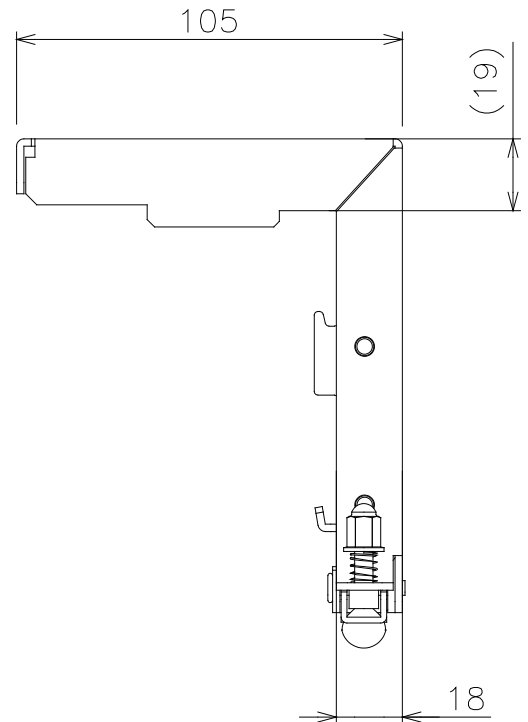
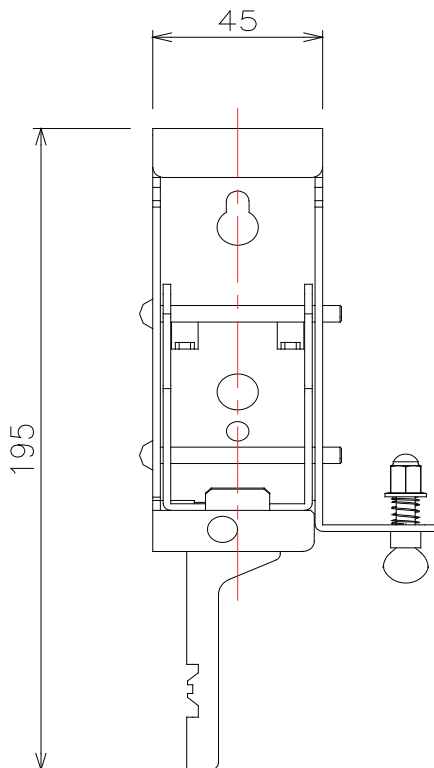


正面から見た図



天井側から見た図

スクリーン本体取付前状態



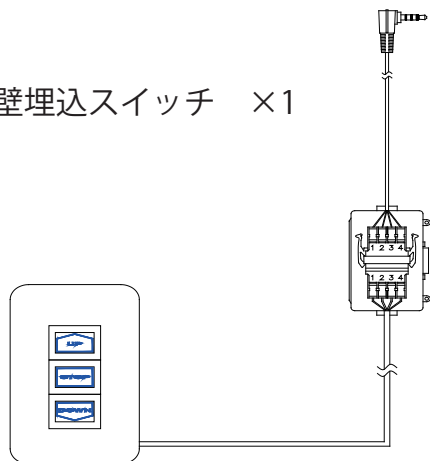
側面から見た図

付属品の確認

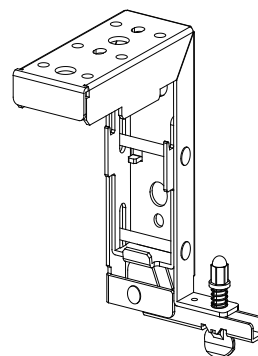
■ 設置・取り扱いの前に必ず確認してください。

付属品（壁埋込スイッチ）

壁埋込スイッチ ×1



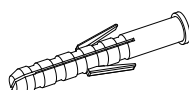
スライディングブラケット ×2



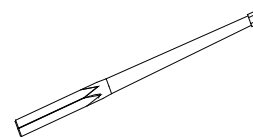
取付ねじセット



ねじ M5×25 ×8
(十字穴付トラスタッピンねじ)



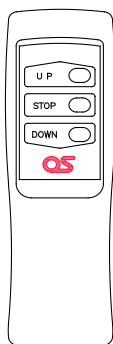
樹脂プラグ ×8



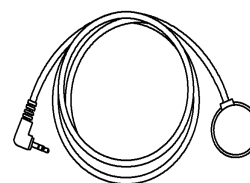
リミット調整六角レンチ ×1

オプション

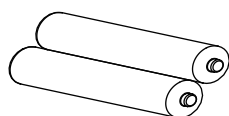
型式：FS-6 赤外線リモコン 送信機 / 受光部



リモコン送信機 ×1



赤外線受光部 ×1

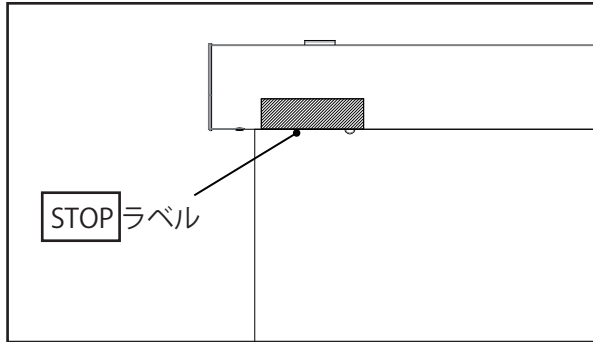


乾電池（単4形） ×2



粘着パッド（予備） ×1

本機の構成と各部のなまえ



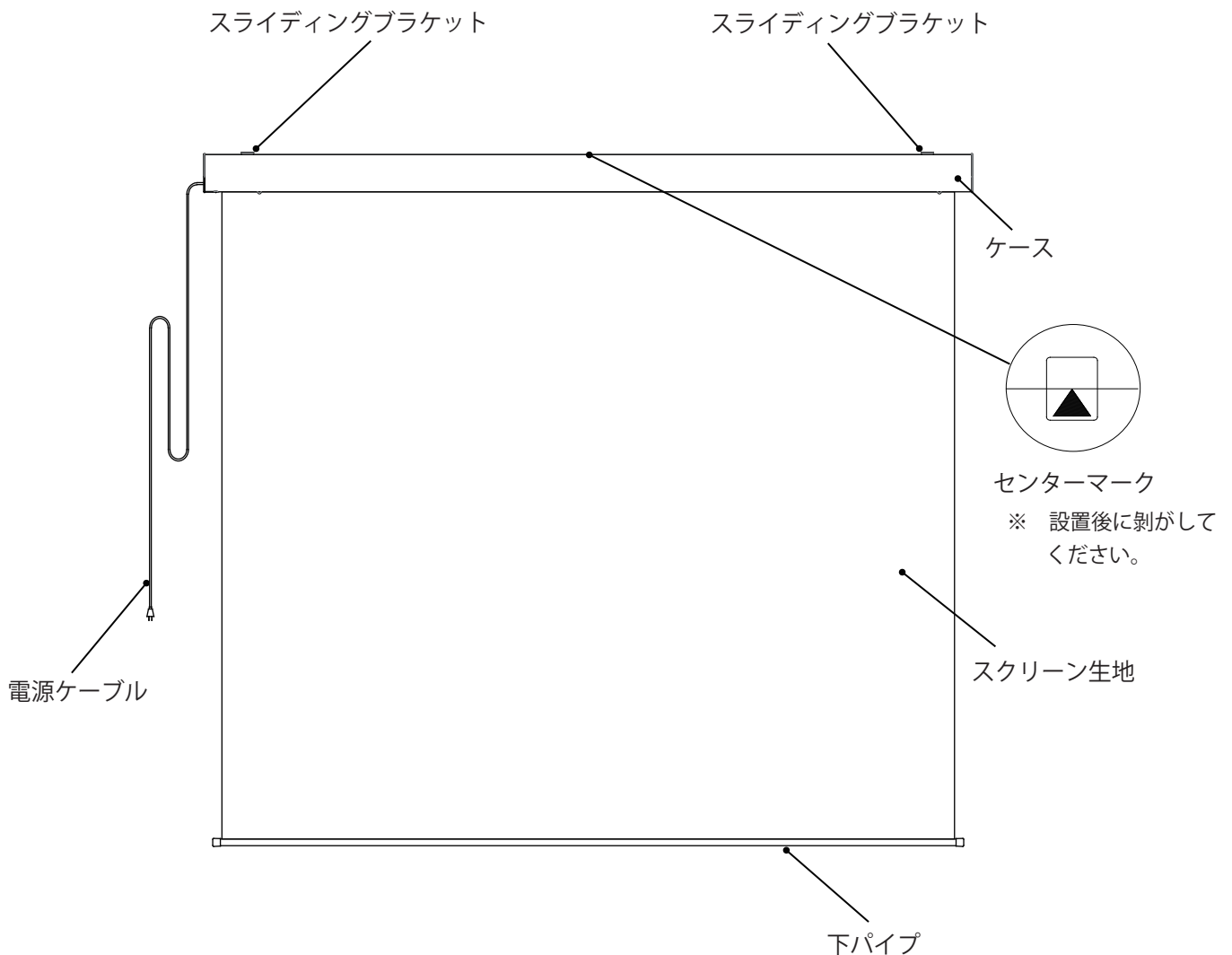
STOPラベルについてのお願い

- 平面性を十分に発揮するため、映写時はスクリーンをSTOPラベル位置（自動停止位置）まで出してご使用ください。
- スクリーン生地が脱落、または逆巻きをおこす原因になりますので、STOPラベル以上にはスクリーンを出さないようにしてください。

※ 下図の部品で構成されていますので、付属品と合わせて取付工事・取り扱いの前に確認してください。

スクリーン主要部分

付属の2つのブラケットを使用して壁または天井に固定してください。



取扱上のご注意

この製品は映写効果を上げるため、スクリーン表面に特殊な加工が施されています。汚れや傷が付きますと映写効果を損なうことがありますので、次の点にご注意の上、丁寧にお取り扱いください。

- スクリーン表面には手を触れないでください。
- スクリーン表面に文字や絵を描いたりしないでください。
- 固い物でスクリーンを擦ったり、引っ掻いたり、叩いたりしないでください。
- 表面のほこりは、乾いた柔らかい布で軽く拭くか、柔らかいブラシで払ってください。



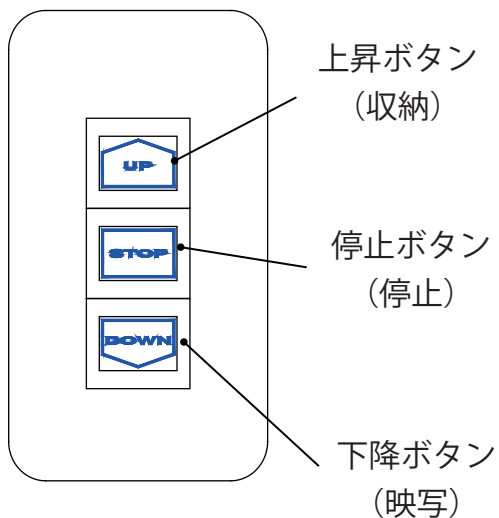
スクリーン表面は、水で湿らせた布やベンジン、シンナー等の薬品類は使用しないでください。映写効果を損なう原因になります。

スクリーンを昇降させるときは、次の点にご注意ください。

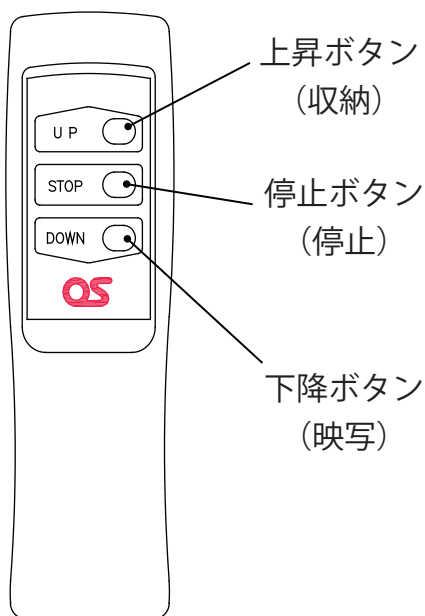
- 昇降中、逆動作をさせるときは、**STOP**ボタンを押し、一旦停止させてから行ってください。
- スクリーンの昇降を続けて行くと、モーターの過熱防止装置が働いて停止します。この場合は、冷却のため、しばらく（10~20分）放置してから操作してください。（※ 故障ではありません。）

使用方法

壁埋込スイッチ



リモコン送信機 (オプション)



1. スクリーンを使用するとき

壁埋込スイッチ、もしくはリモコン送信機の **DOWN** ボタンを押してください。

スクリーンが所定の映写位置まで引き出されて、自動的に止まります。

(初期設定では、**STOP** ラベルの位置)

2. スクリーンを収納するとき

壁埋込スイッチ、もしくはリモコン送信機の **UP** ボタンを押してください。

スクリーンが収納されて自動的に止まります。

3. スクリーンを途中で止めるとき

壁埋込スイッチ、もしくはリモコン送信機の **STOP** ボタンを押してください。

動作中のスクリーンはその位置で停止します。

リモコン送信機についてのお願い

- 落としたり、投げたり、水等がかかったりすると故障の原因になりますので、リモコン送信機は大切に扱ってください。
- 赤外線受光部に向けて操作してください。

※ リモコン送信機はオプションです。

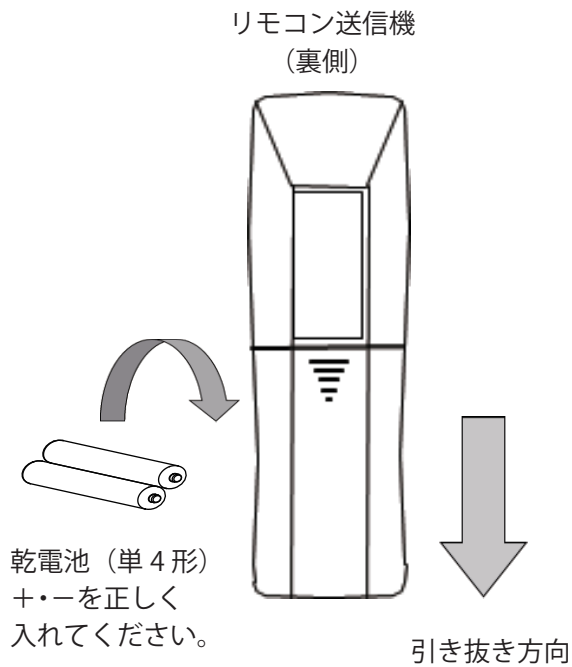


室温が低い場合や、電源ケーブル接続後の初回動作時など、スクリーン昇降速度が遅くなる場合があります。

リモコン送信機の準備

※ リモコン送信機が付属する場合

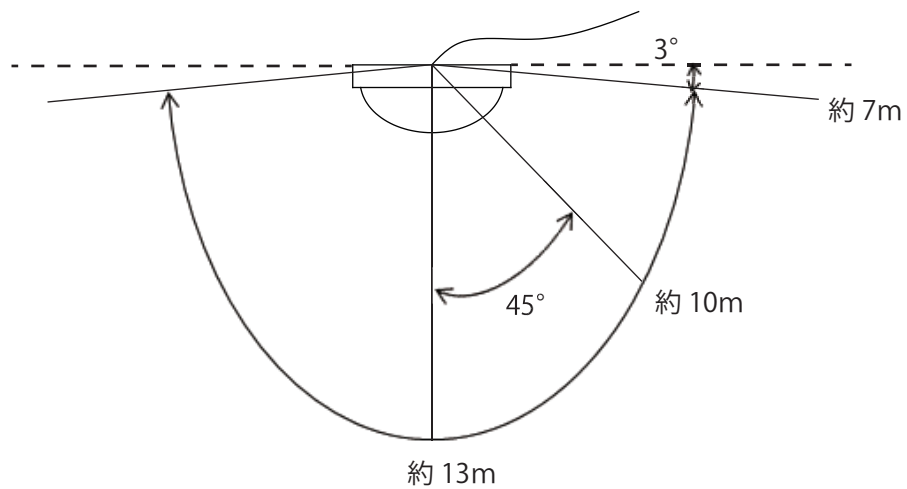
リモコン送信機の裏ボタンを引き抜き、乾電池（単4形）2本を入れてください。



乾電池についてのお願い

- ・ 信号が届きにくくなった場合は、2本とも新しい乾電池と交換してください。
- ・ 液漏れによる故障を避けるために、長時間ご使用にならないときは乾電池を全部取り出してください。
- ・ 充電式乾電池は使用しないでください。

リモコンの作動範囲 赤外線受光部



※ 周辺環境により、リモコン作動範囲が短くなる場合があります

設置の前に・・・設置上の留意点

- 電動スクリーンの性能保障やトラブル防止のため、次の場所には取り付けないでください。
 - 振動や衝撃の加わるおそれのあるところ
 - 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
 - 暖房機器の風が当たるところ
- 取付場所の構造や材質に合った方法で取付工事を行ってください。
- 取付工事中に製品や床に傷が付かないように柔らかい毛布や布を使い作業してください。
- ねじ止めするときは、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。
- 取付工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。
- 製品は水平に取り付けてください。

設置方法

〔はじめに〕

部品は取付箇所、取付方向が決まっていますので、図および説明文をよく確認の上、設置してください。
本説明書（4ページ）を基にスライディングブラケット取付穴位置を確認してから設置してください。

1. 取り付ける場所の確認

- ・ 本製品は天井のほか、壁面への取り付けも可能です。
（ただし、天井・壁面の両方へ同時固定はしないでください。）
- ・ 取付下地に十分強度があることを確認してください。
- ・ 天井取り付けの野縁の位置につきましては、野縁探知機等を利用して下地位置の確認をしてください。壁面への取り付けは取り付け位置に間柱等があることを確認してください。

※ 下地が発見できないときは、取付専門業者に施工依頼をしてください。

別途ご用意していただくもの

- プラスドライバー（#2）
- マイナスドライバー
- スパナ（17mm）
- ラジオペンチ 等



警告

- 本機の設置面は、仕様に記載しているスクリーン質量を長期間支える強度が必要です。石こうやパーティクルボード面に設置する場合、補強が必要となります。設置面の強度が不足していると本機が脱落する原因となります。
- 本機を木下地に設置する場合は、下地の厚みが20mm以上必要です。下地の厚み不足、ねじの締め付けが不十分ですと本機が脱落する原因となります。

2. スライディングブラケットの取り付け



警告

- 取付部分の下地の仕様、製品および製品積載物の重量により取付方法が異なります。製品を取り付けの際には適正な支持強度が十分保てる方法で施工してください。
- 支持強度が不足の場合、落下する恐れがあります。

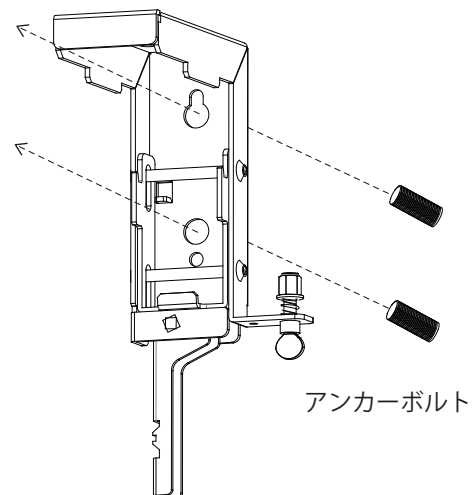
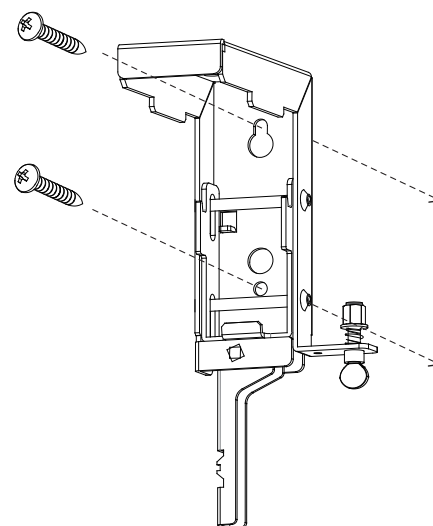
■ 取り付け穴の説明（天井・壁面への設置例）

- ・ スクリーン本体取付位置を決め、それに合わせてスライディングブラケットを設置面に取り付けます。（4ページの取付穴ピッチ、5ページのスライディングブラケット寸法図を参照）
- ・ コンクリート壁などに設置する場合は壁面にアンカーボルトを打ちナットで固定します。必ず投影面の高さや投影面までの距離、中心位置を確認してください。
- ・ スクリーンが水平となるようスライディングブラケットの取り付け位置は正確に測定しマーキングを行ってから施工してください。

壁付けの場合

- 直接壁に取り付ける場合・・・φ6穴を使用
付属ねじ（十字穴付きトラスタッピン 5×25）にて野縁等支持強度が確保できるところに取り付けてください。
- アンカーボルトで壁に取り付ける場合・・・φ11穴を使用
スクリーン本体取り付け位置に合わせてアンカーボルト（M10）を壁に取り付けてください。
（ブラケット寸法図参照 5ページ）

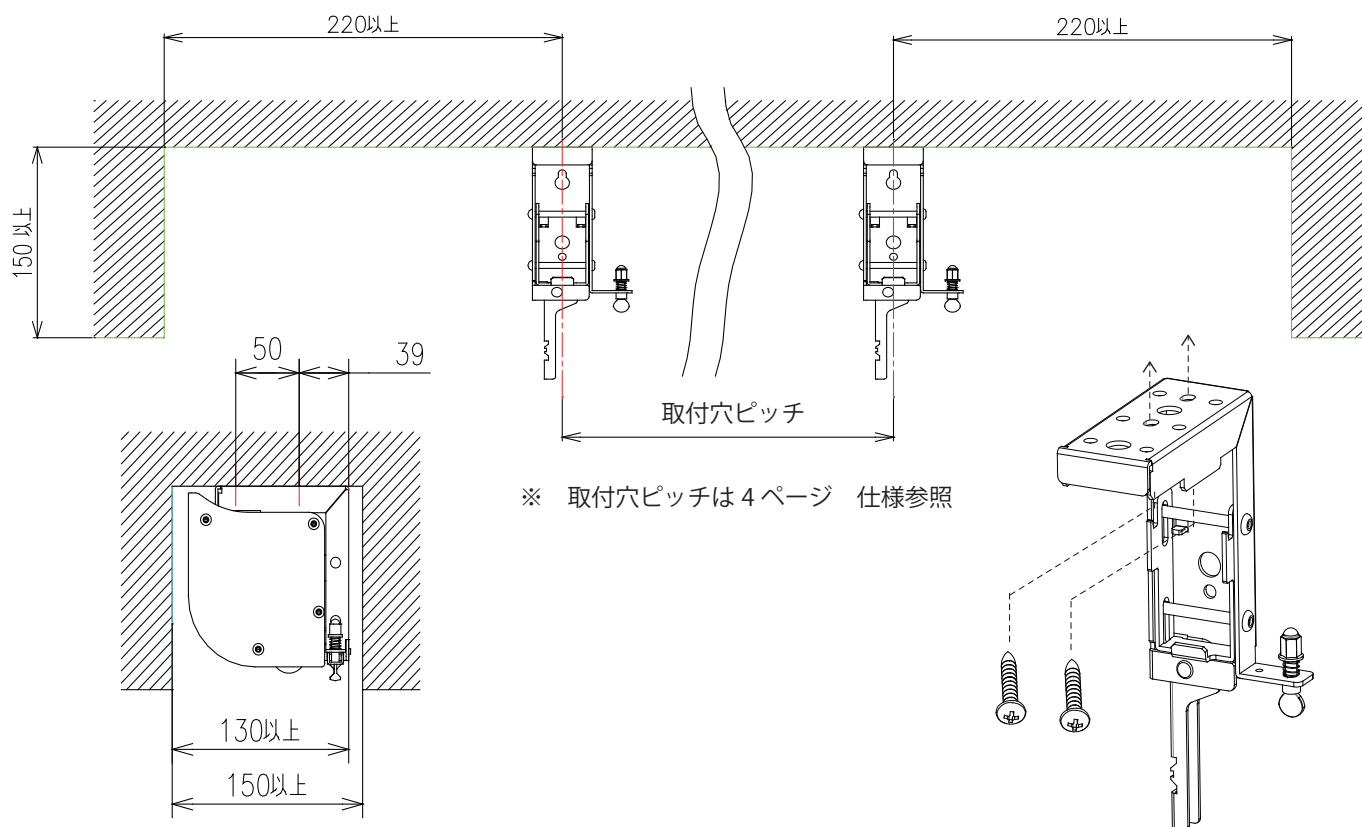
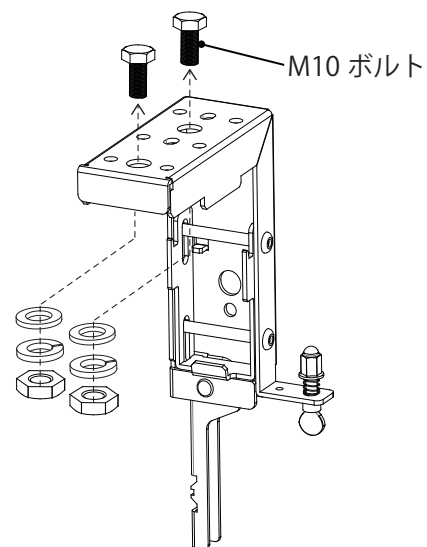
※ スライディングブラケットの固定に必要なアンカーボルト、ナット類は別途ご用意ください。



左右のスライディングブラケットは、同一平面に平行に取り付けてください。
※ 平行でないと、カムレバーの操作が重くなります。

天井取り付けの場合

- 弊社アルミボックスや吊ボルトを使用する場合・・・φ11穴を使用
平座金、ばね座金、ナットでしっかり固定してください。
- 直接ビスで固定できる天井造作（木ボックス・スチールボックス）や
天井に直接取り付ける場合・・・φ6穴を使用
※ 取付位置は下図を参考にしてください。



付属ねじ（十字穴付きトラスタッピン 5×25）にて野縁等、支持強度が確保できるところに取り付けてください。



左右のスライディングブラケットは、同一平面に平行に取り付けてください。

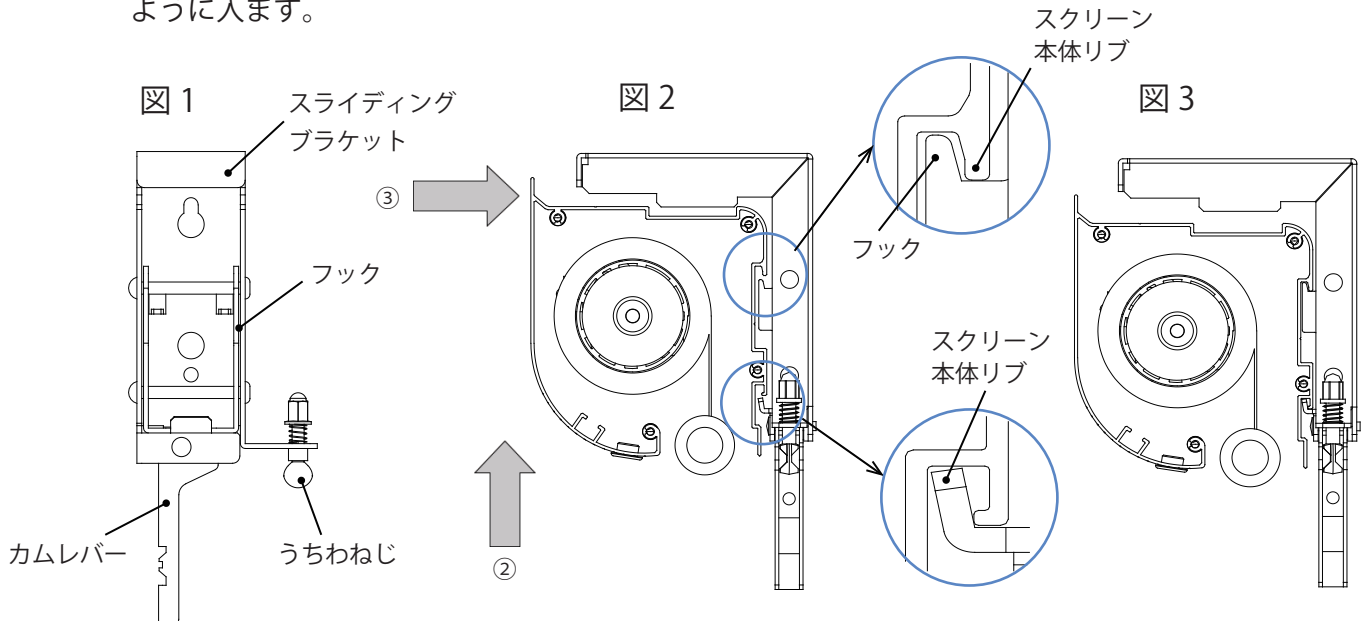
※ 平行でないと、カムレバーの操作が重くなります。

■ 弊社アルミボックス対応表

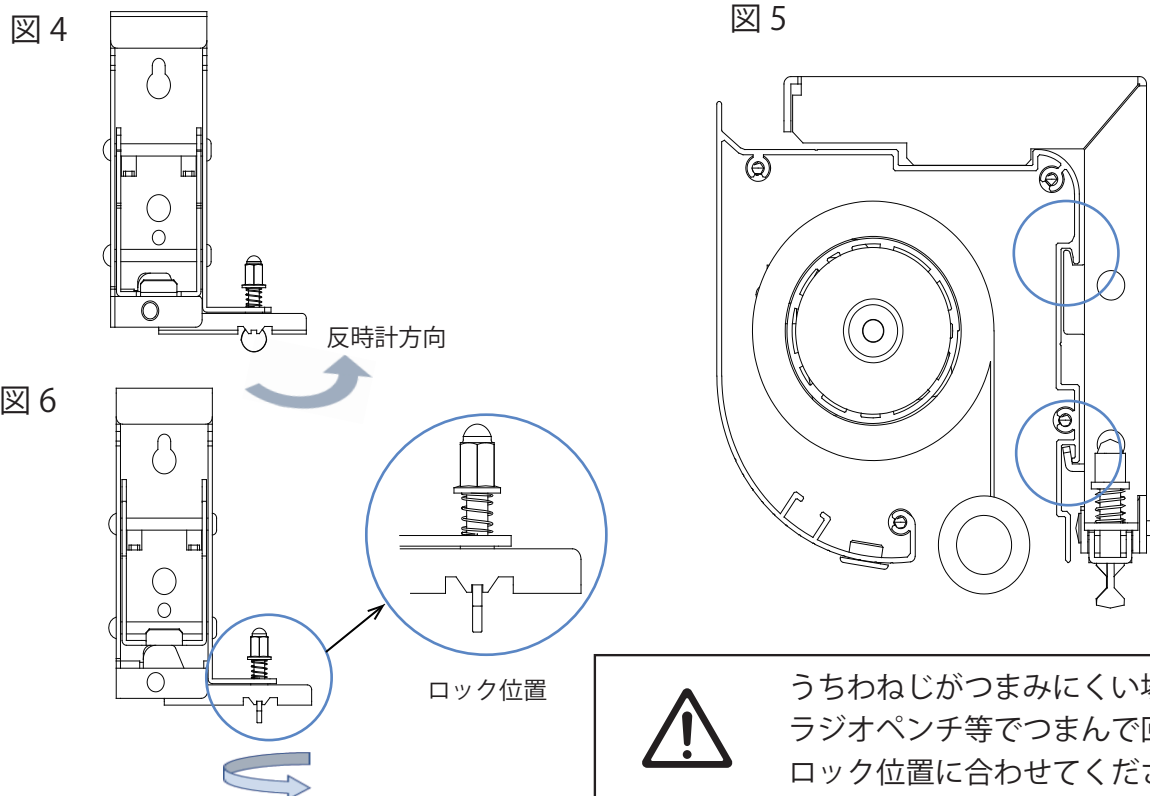
型式	適用アルミボックス
SED-083FN-W1	AL-220X
SED-103FN-W1	AL-260X
SED-123FN-W1	AL-300X

3. スクリーン本体をスライディングブラケットに取り付ける

- ① 図1のようにうちわねじを図示の位置に回し、カムレバーを下に垂らします。
このときフックが下まで落ち切っていることを確認してください。
- ② 図2のようにスクリーン本体を少し斜めにして上に押し上げ、次にスライディングブラケットの方向に横に移動させます。
- ③ スクリーン本体を水平にしながらスクリーン本体リブをフック（上下2か所）に図3の丸印のように入ます。



- ④ 図4のように、カムレバーを反時計方向に回転させ、スクリーン本体を上移動させ固定します。
- ⑤ スクリーン本体リブがフック（上下2か所）に図5の丸印箇所のように入っていることを必ず確認してください。
- ⑥ 図6のようにうちわねじの取っ手部を90°回転させ、カムレバーの溝部に入れカムレバーをロックしてください。

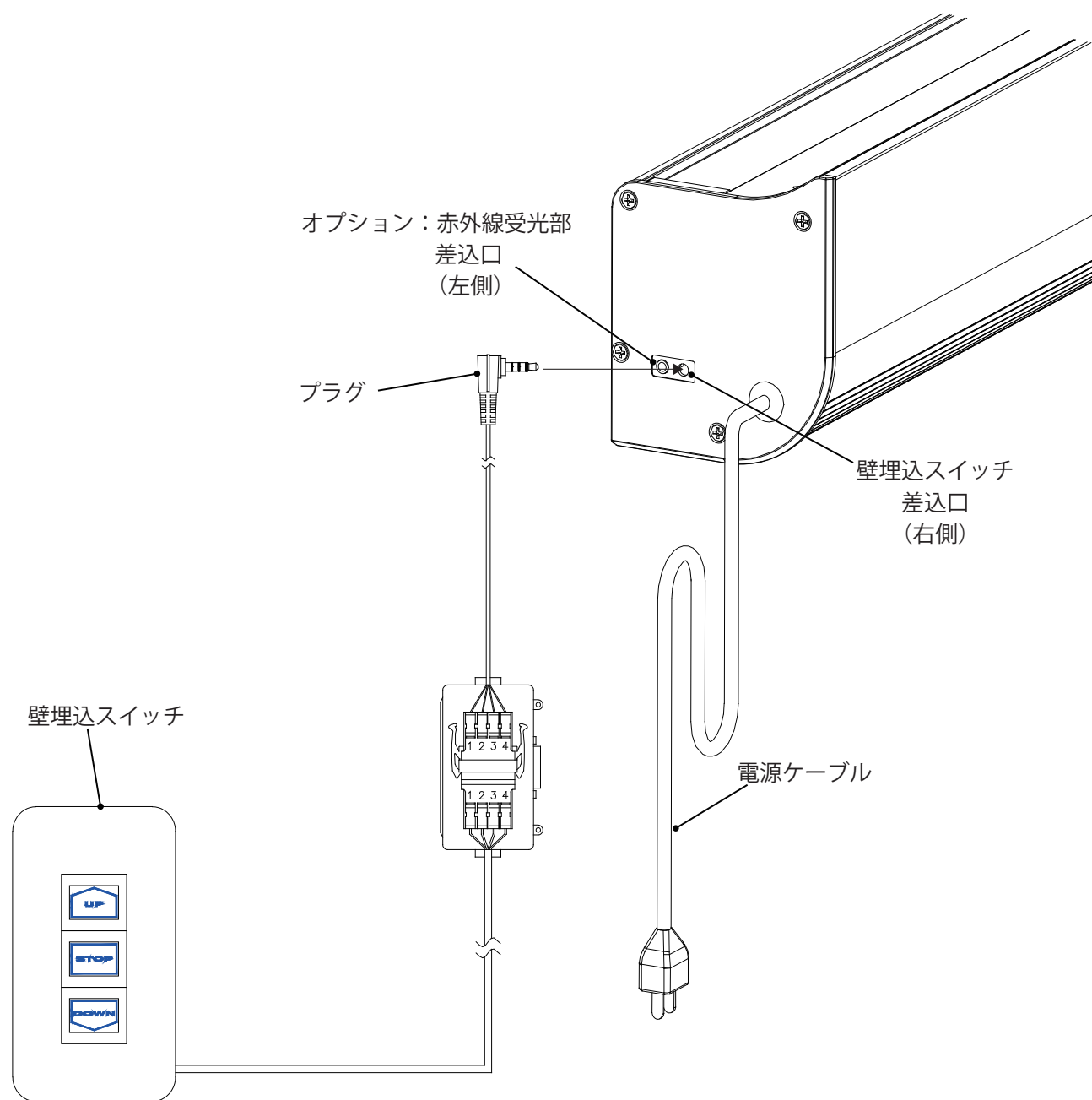


うちわねじがつまみにくい場合は、ラジオペンチ等でつまんで回して、ロック位置に合わせてください。

4. 壁スイッチと電源ケーブルの取り付け

- 壁スイッチを所定の壁に取り付けます。
- モジュラープラグをスクリーンの壁埋込スイッチ差込口に取り付けます。
- 電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込んでください。

※ 接続方法の詳細は、16 ページをご確認ください。

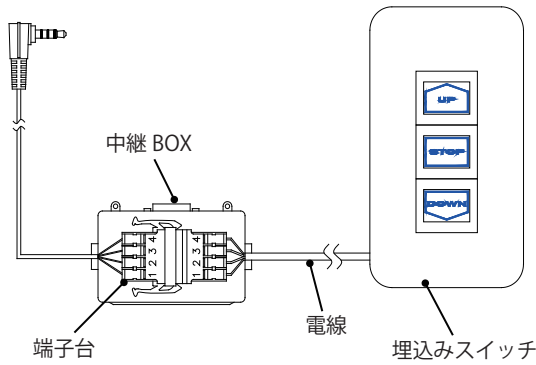


電源プラグは必ず根元まで差し込んでください。
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

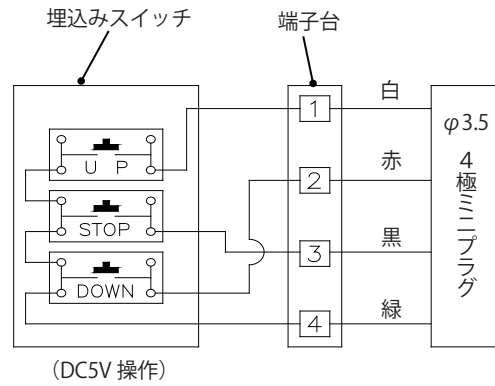
壁埋込スイッチ接続方法

※ 仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

壁埋込みスイッチ



標準操作結線図

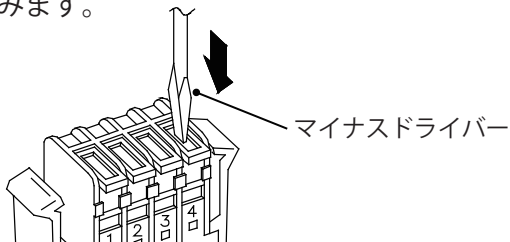


接続方法

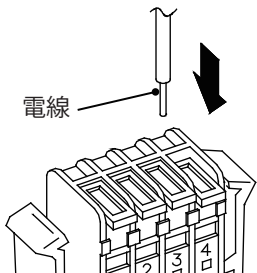
〔はじめに〕

あらかじめマイナスドライバーなどの工具と電線をご用意ください。

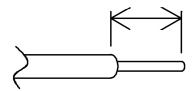
1. マイナスドライバー等を用いて、埋め込みスイッチ側のボタンがロックされるまで押し込みます。



3. 電線挿入穴に電線を奥まで差し込みます。(芯線が露出しないようにしてください。)



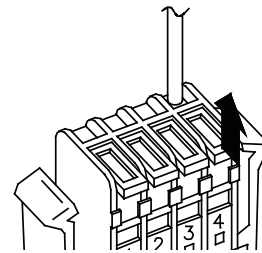
2. 接続する電線の被覆を剥ぎます。(燃線の場合は、挿入に備え軽くねじります。) 保護カバーを電線にセットします。 9mm



〔使用可能電線〕

- 単線：φ0.4 ~ 1.0mm (AWG26 ~ 18)
- 燃線：φ0.3 ~ 0.75 mm² (AWG22 ~ 20) (素線の径はφ0.18mm 以上)

4. ボタンを元の位置に戻します。

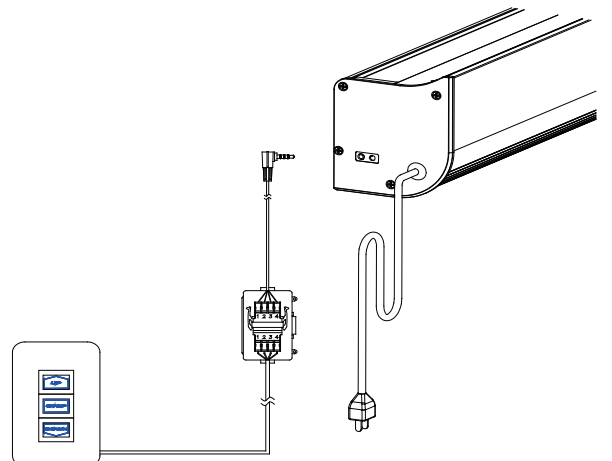
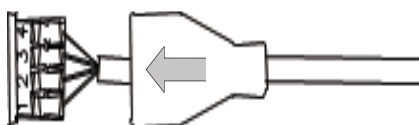


6. モジュラープラグをスクリーンの差し込み口(壁スイッチ用)に接続します。



それぞれの電線挿入穴には、電線は1本のみ差し込むようにしてください。

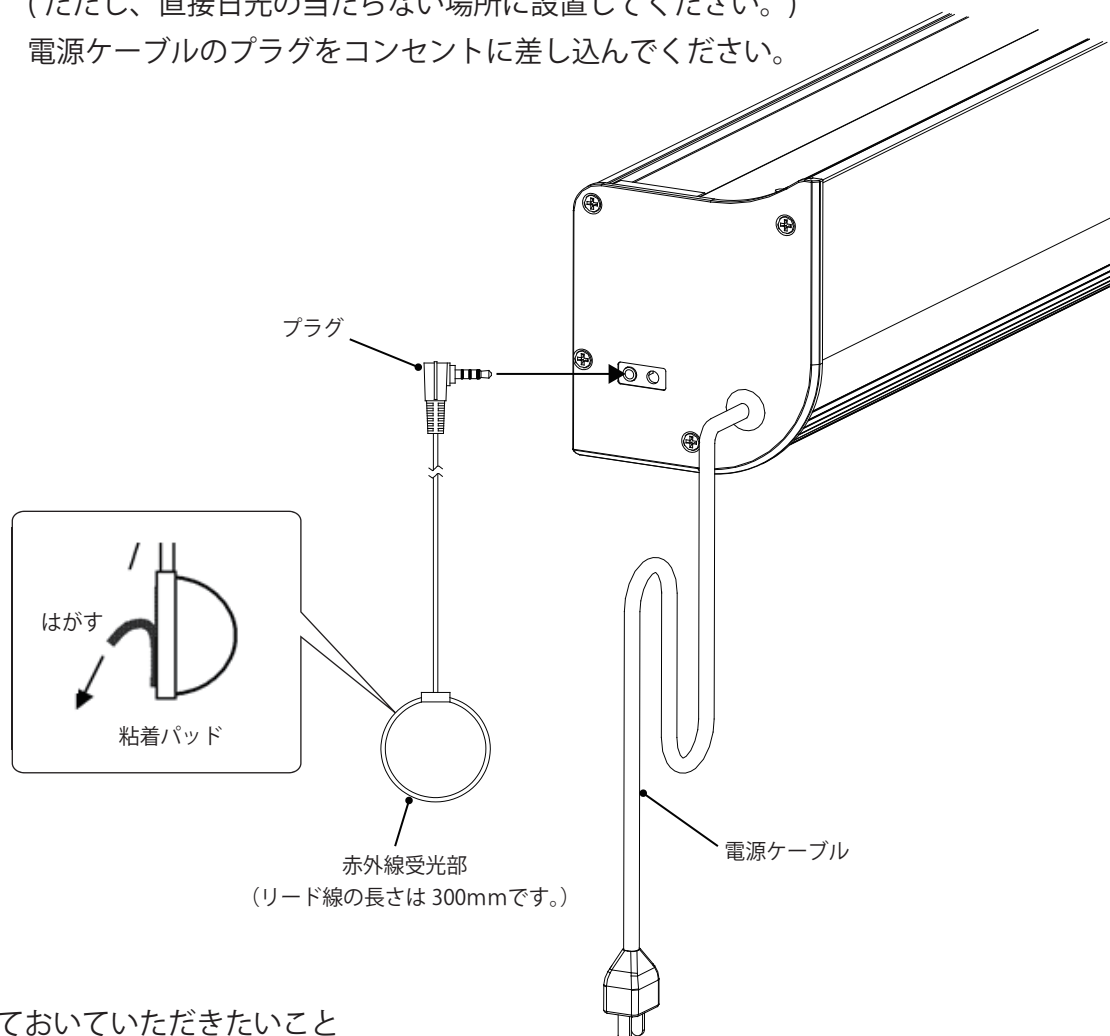
5. 保護カバーをコネクタに被せます。



□ 赤外線受光部

※ オプションの赤外線リモコン（型式：FS-6）を使用する場合

- ① 赤外線受光部のプラグを、本体左側にある赤外線受光部差込口に接続します。
- ② 貼付場所のゴミや汚れ・水・油・湿気等を拭き取り、赤外線受光部裏面の粘着パッドの剥離紙をはがして、リモコン送信機の信号が直接当たる場所（リード線範囲内）に確実に貼り付けます。
(ただし、直接日光の当たらない場所に設置してください。)
- ③ 電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込んでください。



知っておいていただきたいこと

- 直接日光等により受信感度が悪い場合には、赤外線受光部の取付位置を変更してください。
- 場所によっては貼り付けができない場合があります。
- パッドの粘着力がなくなった場合は付属の粘着パッドをお使いください。



注意

- 必ず赤外線受光部の取り付けが完了してから電源ケーブルのプラグを接続してください。故障の原因になります。



警告

- 赤外線受光部は必ず根元まで差し込んでください。差し込みが不完全ですと破損の原因になります。
- 電源プラグは必ず根元まで差し込んでください。差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。

スクリーンを昇降させるときの注意

スクリーンの昇降を続けて行くと、モーターの加熱防止装置が働いて停止します。
この場合は、冷却のため、しばらく放置してから（10～20分）操作してください。

※ 故障ではありません。

自動停止位置の変更

※ 設定変更の前に必ずお読みください。

スクリーンの自動停止位置は工場出荷時に標準の位置に設定済みですが、停止位置の変更が必要な場合は、以下の点にご注意の上、設定方法に添って正しく設定してください。



収納上限位置を工場出荷設定位置より更に上方向に設定した場合、スクリーンの下パイプがケースに食い込んだり、スクリーン生地が破損したり、モーター故障や生地シワの原因になります。

DOWNの位置【映写位置】は工場出荷時に最大下限位置として設定済みなので、**DOWN**の位置より上方向に設定してください。



下限位置を工場出荷設定位置より更に下方向に設定した場合、スクリーンの生地が脱落したり、スクリーン生地が逆巻きしてシワが発生する原因になります。

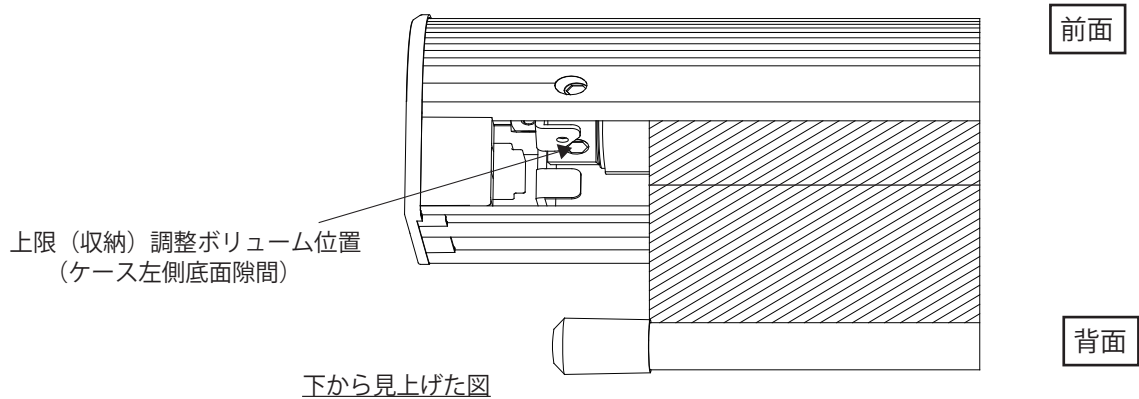
■ 自動収納位置【UP】を変更する場合

※ 初期収納位置より下方向に設定します。

【UP】の位置〔収納位置〕は工場出荷時に最大上限位置として設定済みですので、基本的には、再設定の必要はありません。

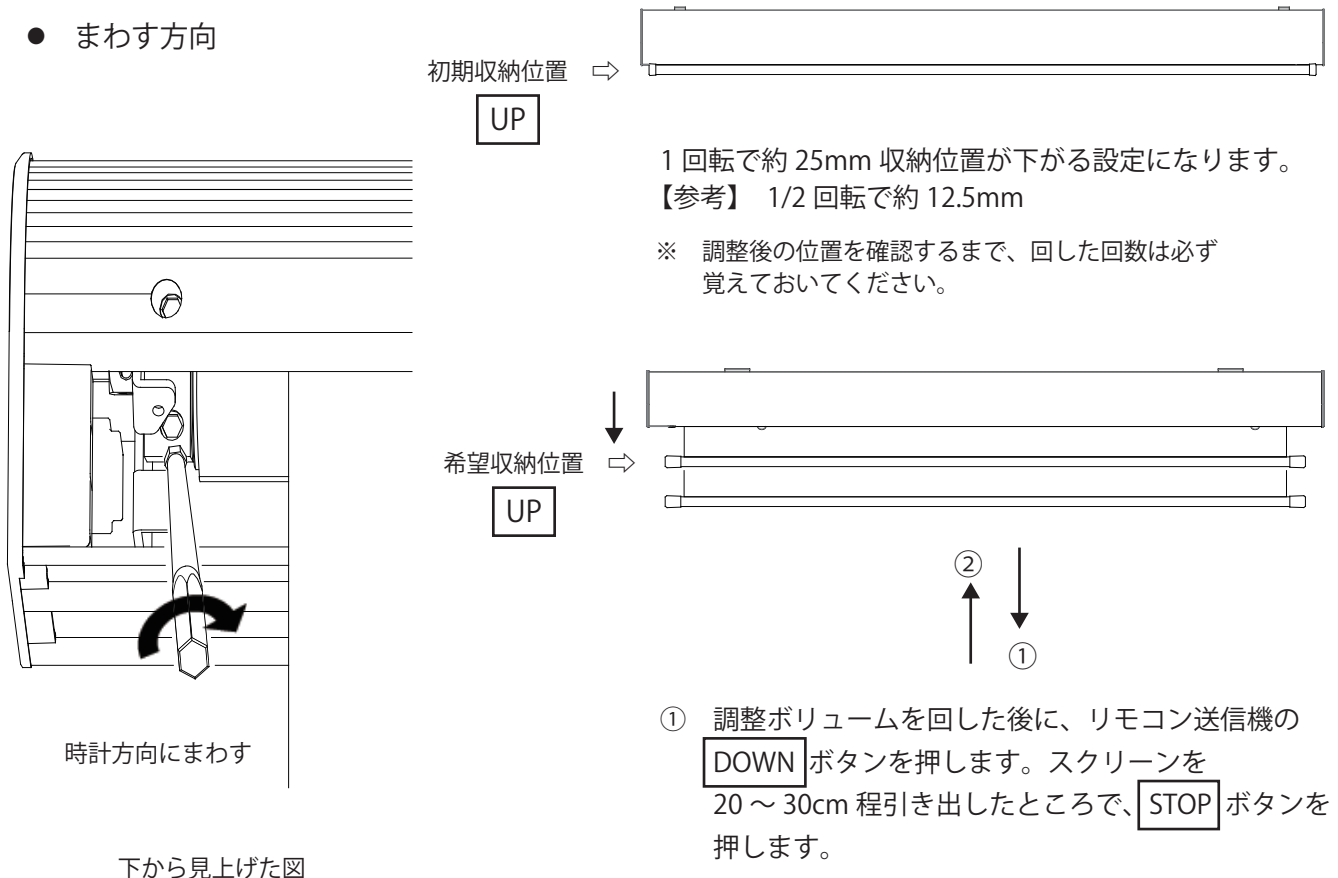
1. ケース左側底面のケース隙間より調整箇所の確認をしてください。

※ このとき、あらかじめスクリーンを約 20cm 程引き出しておくと、調整がスムーズに行えます。



2. ケース隙間から付属の六角レンチを差し込み、調整ボリューム（上限位置）を【時計回り】に回してください。下げすぎないように、少しずつ調整してください。

● まわす方向



- ① 調整ボリュームを回した後に、リモコン送信機の【DOWN】ボタンを押します。スクリーンを 20～30cm 程引き出したところで、【STOP】ボタンを押します。
- ② 【UP】ボタンを押します。
希望の収納位置に停止するか確認をしてください。

■ 収納位置が下がりすぎた場合

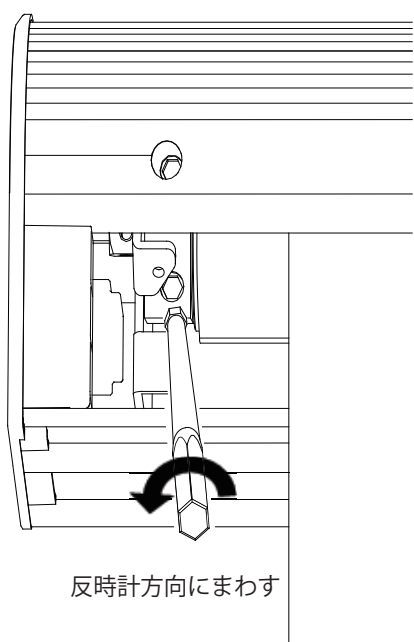
収納位置を下げすぎた場合は、下記の手順にそって、正しく調整をしてください。

1. スクリーンが引き出されている状態で、19 ページと同じ調整箇所には付属の六角レンチを差し込みます。
2. 調整ボリューム（上限位置）を **反時計回り** に回してください。
上げすぎないように少しずつ調整してください。



調整ボリューム（上限位置）を反時計回りに回しすぎた場合、スクリーンがケースに食い込んだり、スクリーン生地が引っ張られて、故障やシワの原因となります。

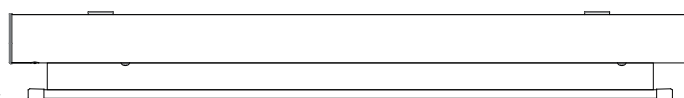
● まわす方向



下から見上げた図

収納位置 ⇨

UP

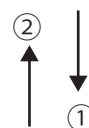
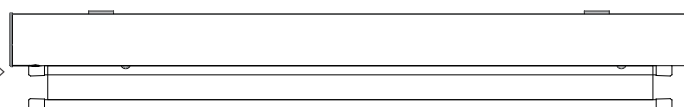


1 回転で約 25mm 収納位置が下がる設定になります。
【参考】 1/2 回転で約 12.5mm

※ 調整後の位置を確認するまで、回した回数は必ず覚えておいてください。

希望収納位置 ⇨

UP



- ① 調整ボリュームを回した後に、リモコン送信機の **DOWN** ボタンを押します。スクリーンを 20～30cm 程引き出したところで、**STOP** ボタンを押します。
- ② **UP** ボタンを押します。
希望の収納位置に停止するか確認をしてください。



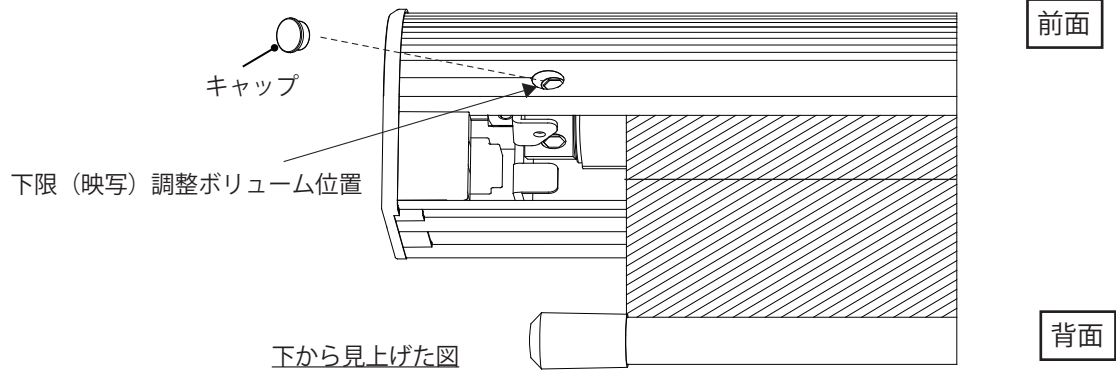
CHECK

調整ボリューム（上限位置）を反時計回りに回しすぎた場合は、収納が終わっても下パイプがケースに当たり、モーターが止まりません。
この場合は速やかに **STOP** ボタンを押して動作を止めてください。
動作を止めた後に調整ボリューム（上限位置）を時計回りに回してください。
(19 ページをご覧ください。)

■ 自動映写位置【DOWN】を変更する場合

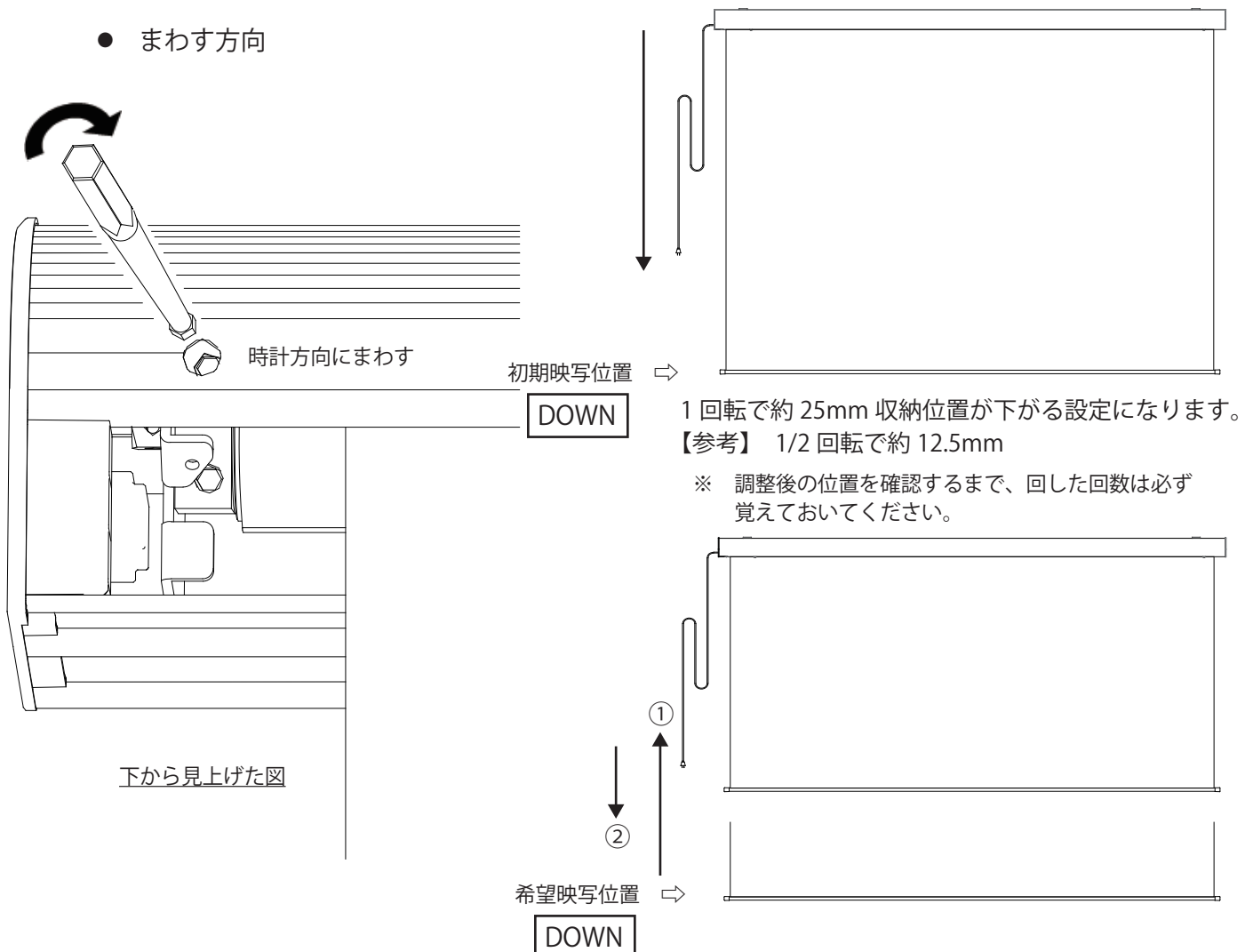
※ 初期収納位置より上方向に設定します。

1. ケース左側底面にあるリミット調整穴の白いキャップを取り外します。
調整箇所を確認をしてください。
スクリーンは必ず DOWN（映写位置まで引き出した）状態で調整してください。



2. リミット調整穴から付属の六角レンチを差し込み、調整ボリューム（下限位置）を時計回りに回してください。上げすぎないように、少しずつ調整をしてください。

- まわす方向



- ① 調整ボリュームを回した後に、リモコン送信機の【UP】ボタンを押します。
スクリーンを20～30cm程巻き取らせたところで、【STOP】ボタンを押します。
- ② 【DOWN】ボタンを押します。希望の映写位置に停止するか確認をしてください。

3. 確認後はリミット調整穴に必ずキャップを取り付けてください。

■ 映写位置が上がりすぎた場合

映写位置を上げすぎた場合は、下記の手順にそって、正しく調整をしてください。

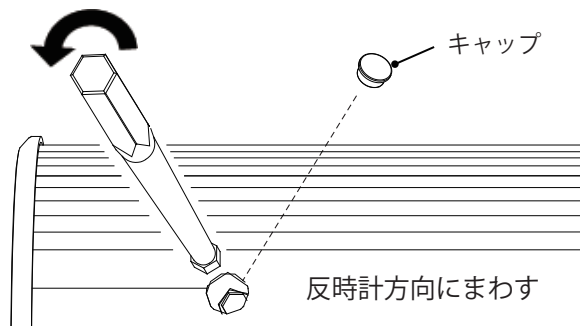
1. スクリーンが引き出されている状態で、21 ページと同じ調整箇所付属の六角レンチを差し込みます。
2. 調整ボリューム（下限位置）を **反時計回り** に回してください。

下げすぎないように少しずつ調整してください。



調整ボリューム（下限位置）を **反時計回り** に回しすぎた場合、スクリーン生地が脱落したり、逆巻きしてシワの原因になります。
STOP ラベル以上はスクリーン生地を引き出さないでください。

- まわす方向



映写位置 ⇨
DOWN



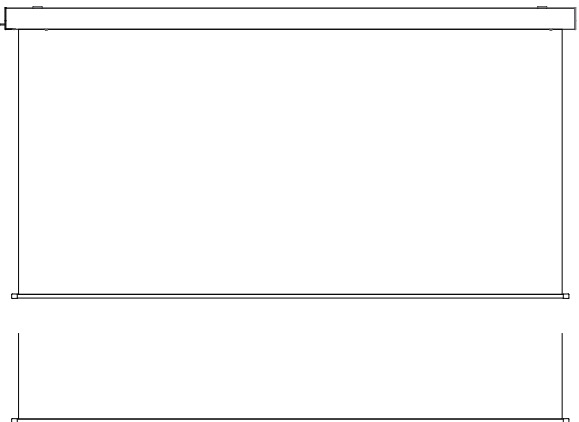
1 回転で約 25mm 収納位置が下がる設定になります。
【参考】 1/2 回転で約 12.5mm

※ 調整後の位置を確認するまで、回した回数は必ず覚えておいてください。

下から見上げた図



希望映写位置 ⇨
DOWN



- ① 調整ボリュームを回した後に、リモコン送信機の **UP** ボタンを押します。
スクリーンを 20～30cm 程巻き取らせたとところで、**STOP** ボタンを押します。
- ② **DOWN** ボタンを押します。希望の映写位置に停止するか確認をしてください。

3. 確認後はリミット調整穴に必ずキャップを取り付けてください。

FAQ（よくある質問）

異常が生じたときは修理を依頼する前に次の点検をしてください。点検前に必ず電源プラグを抜いてください。下記の項目に従って、点検されてもなお異常がある場合は、取扱店またはテクニカルサポートまでお問い合わせください。

症 状	処 置
スクリーン映写面が斜めになる	<ul style="list-style-type: none"> ● スクリーンは水平に取り付けられていますか？ ⇒ もう一度取付穴位置を確認してください。
スクリーン動作中に異音がする	<ul style="list-style-type: none"> ● スクリーンはブラケットに正しく取り付けられていますか？ ⇒ 取付位置は適切か、フックは正しく掛かっているか、カムレバーはロックされているかを確認してください。
スクリーンが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ⇒ AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコン送信機は赤外線受光部に向けて操作していますか？ ⇒ リモコン送信機を本体の赤外線受光部に向けて操作してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコン送信機と赤外線受光部の間に障害物はありませんか？ ⇒ 障害物を取り除く、または赤外線受光部の取り付け位置を変えてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 日光やインバーターの照明の光を赤外線受光部が受けていませんか？ ⇒ 赤外線受光部の位置を変えてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコン送信機の乾電池が消耗していませんか？ ⇒ 乾電池を2本とも新しい物に交換してください。（単4形）
	<ul style="list-style-type: none"> ● モーター加熱防止装置が働いて停止していませんか？ ⇒ モーター冷却のため、しばらく放置してから操作してください。（10～20分）
スクリーンの収納が終わってもモーターが止まらない	<ul style="list-style-type: none"> ● 調整ボリューム（上限）を反時計周りに回しすぎていませんか？ ⇒ 速やかにSTOP ボタンを押して動作を停止させてください。 【設置・取扱説明書】19～20 ページの内容をご確認の上、もう一度調整をしてください。

製品保証内容は以下 URL より WEB サイトにてご確認ください。

<https://www.os-prod.com/products/warranty/>

製造販売元 **株式会社 オーエスエム**

連絡先：株式会社オーエス テクニカルサポートセンター
〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL：0120-465-040 FAX：0120-380-496

(受付時間：平日 9：00～17：50 ※土日祝祭日を除く)

E-mail：info@os-worldwide.com